令和6年度 第5回益城町子ども・子育て会議（要旨）

日 時 令和7年1月10日（金）10:00～11:50

場 所 益城町庁舎2階 会議室2-4・5・6

出席者 委員会：今吉会長、吉村委員、荒木委員、梅木委員、平城委員、岩本委員、池田委員、
田口委員、福山委員、中路委員、松本委員、藤井委員、谷川委員、白石委員
益城町：こども未来課 吉住課長、村上係長、江崎係長、松本主査、山田主査
学校教育課 信國課長補佐、齊藤係長
健康保険課 後藤係長
（計画策定業務委託事業者）株式会社サーベイリサーチセンター

欠席者 なし

◆ 概要

◇ 開会

◇ 会長あいさつ

- こどもたちに分かりやすい施策、より良い計画にできれば良いと思う。

◇ 議事の公開について（審議）

- 後日、会議要旨を町ホームページで公開。

◇ 議事

（1）【こども計画】計画素案「第2期計画の施策評価」の修正について（審議）

- 資料1及び資料2を用いて説明。施策評価の修正について審議。
 - 計画の整合性向上と表現の明確化のための修正として承認。

（2）【こども計画】計画素案「施策の展開」について（審議）

- 資料1を用いて説明。施策の展開について審議。
 - 64ページの6「障害児通所支援」の説明文中の「給付」という表現は、一般の方には分かりづらいため再度検討。
 - 51ページ・63ページの「心理相談」について、以前の資料では説明の中に「子育て相談」の内容も含んでいたが、それぞれ別事業のため記述を分けることとした。「子育て相談」については45ページに記述している。
 - 益城町独自の取り組みがあれば分かるように表示すべき。
 - 全国的に「こどもまんなか」に力を入れている中、益城町独自の取り組みがなければ、移住促進にもつながらない。

- 地震後の公共施設整備を通し、住民が自由に集まり利用できるオープンスペースが増えているため、子ども・若者の居場所として活用できるようアピールしていく。
- 「子ども食堂」の記述が漏れているため、追加。
- 40 ページ（1）の文章「子ども・若者にアウトリーチさせ」という表現は不適当なため修正。
- 40 ページ以降の「臨床心理士」の記述について、「公認心理師」に変更すべきか検討。
- 50 ページの 2「いじめ・不登校防止及び支援体制の確立」について、フレンドネット等を無くしていくといった話は無い。今後拡充していく。
- この計画をきちんと整理し、役場・行政の関係各課が連携を取り、支援を必要とする人が必要な支援につながるようにならなければならない。
- 計画書の表紙には基本理念を載せ、計画の内容をイメージできるものにする。
- 今回の会議の意見を整理し修正したものを「計画案」とする。なお、事務局修正後の確認については、会長に一任する形で行うことを確認した。

（3）【子ども計画】パブリックコメントの実施について（審議）

- 資料 3・資料 4・資料 5 を用いて説明。パブリックコメントの実施について審議。
 - 意見提出の区分は「（29 歳以下の）子ども向け」と「一般向け」の 2 種類。パブリックコメントで意見等提出する際には、通常、氏名・住所・連絡先等の記入が必要だが、「子ども向け」では、氏名かニックネームと年齢だけで簡単に意見を提出できるよう調整。
 - やさしい版は小学 4 年生ぐらいの子どもに事前に見てもらい、分かりやすいものにする。
 - 多数の意見を集めるための意見提出者への特典等、今回は難しいが今後検討。
 - 中学生には一般向けの概要版もあわせて用意するよう検討。
 - やさしい版を、子どもだけでなく大人も見れるようにする。
 - パブリックコメントを経て計画承認された後には、完成したやさしい版・概要版を、教室や子どもが集まる場所に行き渡るよう配布する予定。
 - 子ども計画策定後に、民生委員・児童委員の会合等で周知を図ることを検討。
 - 子どもや子育て中の家庭など、当事者に関心を持ってもらうため、町のイベントでの周知や関係機関での声掛けなど、なるべく多くの人に見てもらえるように周知方法を検討。
 - 学校の生徒会執行部への投げかけについても検討。

（4）その他（案内）

- 第 6 回会議は令和 7 年 2 月 28 日（金）の 10 時から開催。

◇ 開会